

金沢大学フォーラム

「科学・技術と現代社会」

講師：村上陽一郎 研究科長（東京理科大学科学教育研究科）

もともと科学は、技術とは異なり、科学者個人の好奇心の充足という、文化的な営みとして成立した。20世紀半ばから、事情は急変した。一般社会の軍事や産業が、科学の成果の持つ利用可能性に気付いたからだ。こうした状況の中で、科学・技術と社会との関係も、この半世紀大きく変わりつつある。この講演ではその諸相を考えたい。



昭和11年東京生まれ。東京大学教養学部，同人文系大学院博士課程修了。専攻は科学・技術の歴史，科学技術社会論。上智大学理工学部助手，同助教授，東京大学教養学部助教授，同教授，東京大学先端科学技術研究センター教授，同センター長，国際基督教大学教養学部教授，同大学院教授を経て現在東京理科大学大学院嘱託教授。東京大学名誉教授，国際基督教大学名誉教授，ほかにウィーン工科大学客員教授，北京人民大学客座教授など。

著書に『近代科学と聖俗革命』（新曜社），『工学の歴史と技術の倫理』

（岩波書店），『科学者とは何か』（新潮社），『安全学』（青土社），『あらためて教養とは』（新潮文庫）など多数。

日時

12月14日（月）

14：00～15：00

場所

金沢大学自然科学本館 大講義棟レクチャーホール

対象

教職員及び本学学生

お問い合わせ：総務部総務課総務係 264-5010



金沢大学

KANAZAWA
UNIVERSITY